

シンプル 外から見えない 3S



ほぼ操作の必要がない
一人で使うのに最適

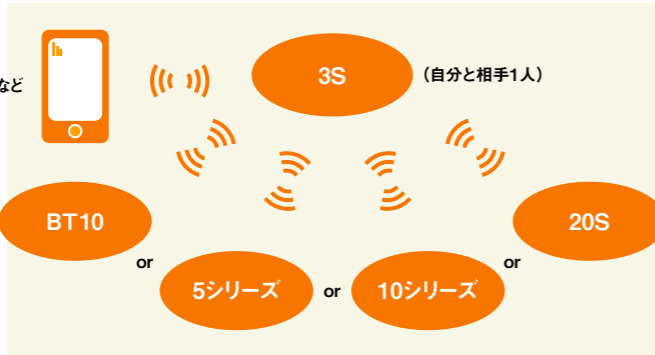
インターコム入門に最適なベーシックモデルの「見えないインターコム」が「3S」。いわゆる「本体」に当たる部分は見当たらず、ヘルメットの両耳の位置に付けるスピーカとマイクしかないようなスタイルが独特だ。物理的にはスピーカーとマイクしかないため、ヘルメットの帽体の外に付ける部分はまったくない。そのため、周囲から見ると、ヘルメットに付けていることが分からない。「見えないインターコム」なのだ。

「見えるインターコム」の場合、操作は本体のダイヤルやボタンで行うが、「見えないインターコム」には本体に当たるものがないため、それができない。そこで、3Sでは、ブームマイクタイプはマイクの根元に、ケーブルマイクタイプはごく薄いボタンを帽体に貼り付けて操作するようになっていて、操作後のインターコムの状態は音声ガイドが教えてくれるから、「見えない」からといって操作が難しいわけではない。

このように、見た目には極めてシンプルな3Sだが、インターコムとしての機能はベーシックモデルとして必要十分なものが与えられている。インターコム会話は、

セナのインターコムとであれば、それでも接続が可能。また、スマートフォンと接続すれば、電話や音楽を聞く、ナビアプリの音声案内を聞く、といったことももちろんできる。また、セカンドフォンペアリング機能があるため、スマートフォンを2台接続したり、スマートフォンの1台とHFPに対応したGPSナビを接続するといった使い方も可能にしている。

これまでインターコムを使っていなかったライダーの中には、「デザインが気に入っているヘルメットにインターコムのようなものが付くのがイヤ」という声も少なくない。しかしこの「見えないインターコム」であれば、帽体にほぼ何も付ける必要がないため、デザインを損なうこともない。特にバイクに乗る中心が通勤通学やソロツーリングが多いというライダーの場合、音楽やナビの音声案内を聞いたたり、着信した電話に出るといった用途となる。その場合、ほぼインターコムを操作する必要がない。であれば、ヘルメットの表面にすっきり何も付けない、「見えないインターコム」を、ぜひオススメしたい。



他モデルとのペアリングもOK

3Sとインターコム会話できる1対1の相手は同じ3Sに限らない。SMH5/FMをはじめ10、20シリーズなどと会話が可能。他社のインターコムとの会話はできない

ココで操作!



充電もカンタン

充電は本体から伸びるマイクロUSBケーブルから可能。充電のほか、ファームウェアのアップデートにも使用。充電は市販のUSB充電器が利用できる



操作ボタンはわずか2つ（プラスボタン、マイナスボタン）だ。ブーム型マイクモデルはマイクの付け根に、ケーブル型マイクモデルは、帽体に貼り付けたパッドにボタンがありタップで様々な設定操作が可能



3S-W ケーブルマイクモデル

3S-B ブームマイクモデル

価格：1万4472円（ケーブル型マイク）
1万3392円（ブーム型マイク）
同時通話：2人
通信距離：最大200m（見通しの良い所）